

コンサルタント業務における web 打合せに関するアンケート調査結果について

1. 調査の目的

当事務所は茨城県常陸太田市にあり都内から電車で3時間程度を要することから、コンサルタント業界の働き方改革の進展等を考慮するとともに、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からコンサルタント業務の打合せを原則 web 方式としてきました。

この取り組みを行っている業務のうち8件の設計業務が6月末までに務完了したことから、受注者の協力を得て、web 打合せの効果と課題、ポストコロナを見据えた働き方やDXの動向等についてアンケート調査を行いました。

この結果を踏まえ、今後の各業務での打合せの進め方、web 打合せ機器の整備、コンサルタント業務における働き方改革や受発注者のコミュニケーションの更なる向上を目指してまいります。

なお、当事務所では、コンサルタント業務においては、原則 web 打合せを継続しております。

2. 調査対象業務

① 業務の概要

調査業務数；8業務（すべて回答あり）

工期；令和2年8月～10月に着手し、令和3年6月に完了

業務内容；設計業務（橋梁予備設計1,築堤詳細設計5,樋管予備設計2）

② 各社の拠点都市（電車での片道所要時間）

○23区内（約3時間）；2業務

○さいたま市（約3時間）；3業務

○仙台市（約5時間）；2業務

○新潟市（約5時間）；1業務

3. web 打合せの実施状況

① web 打合せの実施状況

回数；4回～12回（平均6.3回）

※特記仕様書での打合回数（7業務が7回、1業務が8回と設定）

時間；1時間～2時間（平均1.6時間／回）

② web 打合せの参加場所

会社からの参加；8業務

会社以外（在宅勤務）からの参加；0業務

※会社から参加している理由（選択肢）

- ・打合せでの質問に回答できるよう出勤；5 業務
- ・発注者との打合せは web 会議であっても会社からの対応；2 業務
- ・在宅勤務は一定数しているが指定された日時に出勤；1 業務

<参考：工期中の在宅勤務の実施状況>

管理技術者：1 割から 5 割程度（平均 2.5 割）

担当技術者：2 割から 5 割程度（平均 2.5 割）

※主たる担当者 1 名の実績としている。

4. web 打合せの効果と課題

【効果について】

① 直接的な効果

打合せに要する移動時間の削減*；約 17.3 時間・人/回（12 時間・人～24 時間・人）

*例：3 人が往復で 6 時間の移動を要する打合せに対応した場合は 18 時間・人

*打合せ時間は含まない

② 関連する効果（フリー回答の主なもの）

- ・担当者の多くが協議に参加可能となり、情報共有の効率化が可能となった
- ・スケジュール調整が容易。ほぼ希望する日時で打合せが実施できた
- ・印刷していない資料であっても、必要に応じて画面に表示して出席者が共有できた。

【課題について】

<意識の共有（対面との比較）（複数回答可）>

- ・発注者の依頼内容や意図がわかりにくい場合がある：6 業務
- ・説明内容が発注者に伝わっていない場合がある：5 業務
- ・特に課題はない：2 業務
- ・その他（フリー回答の主なもの）
- ・発注者様が見ているページがわからないので説明速度が適切かわからない
- ・発注者様側同士の会話が聞き取れない、（音声の不具合が多かった）

<WEB 会議の資料準備（複数回答可）>

- ・web 会議でもわかるような資料作りが必要になった：4 業務
- ・対面よりも資料が増える傾向である（対面ならば手持ち）：3 業務

- ・事前送付を求められ、結果として期限が厳しくなった： 2 業務
- ・対面での資料と変わらない：2 業務

<web 打ち合わせシステムについて>

[当事務所 (関東地方整備局) では、Microsoft 社の Teams を使用]

- ・貴社内で使用している web 会議システム名 (複数回答可)
Teams：5 業務
Zoom：3 業務、Meet：1 業務、Cisco：1 業務

<web 打合せ時の回線状況等について>

- ・音声途切れる場面や聞き取りにくい場面があった 5 業務
- ・音声、映像とも途切れる場面があった 2 業務
- ・問題はなかった 1 業務

<対面と web 打合せについて> (複数選択可)

- ・原則、web 打合せで問題はない 6 業務
- ・重要事項に関する打合せは必要に応じ、対面とすべき 4 業務
- ・web は簡易な条件確認、少人数に活用 1 業務
- ・打合せは全て対面とすべき 0 業務

5. ポストコロナを見据えて (貴社や管理技術者の方針) (複数回答可)

- ・働き方改革の流れは強く、移動時間を削減できる WEB は増える 8 業務
- ・コロナ後もテレワークは一定量継続する 8 業務

6. その他<参考にお聞かせください>

- ① DX ルームの設置や 5G 通信導入など、DX 推進に向けた取組有り 4 業務
- ② 働き方改革の進展により、発注者までの移動時間を考慮して受注しているか。
全く考慮していない 5 業務
ある程度考慮 3 業務
- ③ web 会議を効果的、経済的、円滑に進めるための取組有り 7 業務
具体的な事例 (フリー記述の主なもの)
 - ・会議室に大型モニターを設置 2 業務
 - ・画面の見やすさ、ヘッドセット使用のため各自の PC から参加 1 業務
 - ・web 会議用の小スペースを導入 1 業務
 - ・マイクを複数台設置し音声伝わる環境を整備 1 業務

7. 今後の対応

- ・ 当所では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点、働き方改革の推進を支援する観点から、コンサルタント業務での打合せを原則 web とすることを継続します。
- ・ また、web 打合せにおいて、受注者側が出社して対応している実態があることから、今後は、これを改善するための web 打ち合わせにおける新たなルールを試行します。
- ・ なお、打ち合わせ時の通信環境の安定化、聞こえにくさの改善、図面資料の共有を目指したシステム改良を進めてまいります。
- ・ 当所としては、こうした取組を進めることで、コンサルタント業界の働き方改革を支援するとともに、選ばれる発注者となることで、久慈川緊急治水対策プロジェクトの早期完成を目指してまいります。